

1. 活動の概要

7月10日（木）、奥出雲町三沢小学校5・6年生のみなさんと『心に残る文化財子ども塾』をおこないました。テーマは「三沢のたたらについて学ぼう」です。

最初に学校で、三沢とたたらについて『出雲国風土記』や三沢氏の刀（写真）などを使って学習しました。つぎに奥出雲町教育委員会からお持ちいただいた、縄文時代の土器と石器、古墳時代の刀と玉を観察しました。本物に触れることで、はるか昔の三沢の歴史が、はじめて身近なものとして感じられたのではないのでしょうか。

そのあとは、バスに乗ってかな流しの跡と古墳などの遺跡をまわり、さいごに角炉伝承館を見学しました。なかでも、はじめて見る古墳には興味津々のようすで、みんな熱心にメモをとっていました。

あつという間のバスツアーでしたが、身近にある古墳や遺跡を体感して、「ふるさと三沢」を誇りに思う気持ちも一層高まったようでした。

2. 活動の様子



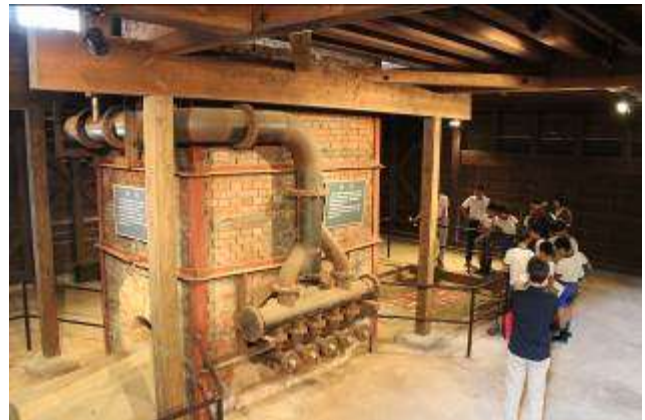
↑ これが古墳時代の刀だ。表面はさびているけど、重い！



↑ 縄文にどきっDoki! 縄文人の食べていた動物は・・・



↑ かな流しで地形が変わった！



↑ 角炉伝承館。水車のチカラはすごいです！！

3. 子ども塾を終えて

①児童たちから

「角炉伝承館で水車でふいごをするようになったと言われて昔の人はよく考えたなと思いました」

「自分たちの身近にたくさんの貴重なものがあったからこれからも大切にしていきたいです」

「本物のやじりや刀がこの辺で出ていてすごいなあとと思いました。土の中に刀があってびっくりしたし、前方後方墳がこのあたりには一つしかなくて、すごいなあとと思いました」

「見せてもらったネックレスを作ってみたかったです。まが玉もみてみたいです。いろんなのを見てとても大切な物だと分かりました」

「三沢をまわって新しい発見ができた」

「三沢に古墳があったり土器やいろいろなものが出ていてすごいと思いました。こんなところがあったてなんだかうれしい気持ちになりました。また自分でさがしてみたいです」

「三沢には他にも道具などがあるか見つけてみたいなと思いました。夏休みにまた行って調べてみたいです」

「もっと古墳が知りたいです」

「古墳の中を見てみたい」

「どうやったら古墳やかんな流しをしていたと分かるのかもっと知りたい」

「田んぼから宝をさがしてみたいです」

「もっと下鴨倉遺跡について知りたいし、夏休みにまた今回行ったところなどに行きたいです」

②担任の先生から

「貴重な文化財や地域の遺跡を目の前にしながら学習することができ、子供たちが引き込まれていく様子が印象的でした」

「子どもたちが地域の歴史に興味・関心をより一層持つこと。そして地域（の歴史）に誇りを持つきっかけとなりました。ありがとうございました」

③センターからひとこと

「住んでいる地域の歴史に興味と誇りをもってもらえたのが嬉しいです。今回の体験をもとにして、どんな新聞が出来上がるのか、とても楽しみです。5・6年生のみなさん、先生方ありがとうございました」